

## 6月補正理由

病院周辺整備事業の6月補正について、改めてご説明申し上げます。

病院の周辺整備事業につきましては、工事用進入路、残土処理、市道に隣接した施設整備などのため同時期の施工が望ましく、市道の新設改良工事に合わせて、発注、着工するということを基本に考えておりました。

一方、19年度当初予算を編成する18年12月の段階では、建設課から市道詫間128号線に対する交付金は、内示の内示、内々示として、3000万円と聞いておりました。(建設課は、8000万円を要望しておりましたので、当初に8000万円を予算計上したと聞いております。)

そのため、19年度においては、道路の工事区間は、病院の駐車場用地までは延長できないと、協議の上、判断しておりました。しかし、用地買収については建設課に依頼して、道路用地と同時に進めるため、用地買収費のみ、19年度の当初予算に計上いたしました。

その後、19年の4月に8000万円の交付金の内示があり、永康病院まで、市道詫間128号線の延長工事が可能となったので、用地買収等が片付き次第、早い時期に着工する予定であると建設課から話がありました。19年度の用地買収予定地の道路用地、駐車場用地とも当初、地籍図の訂正、相続等の問題を抱えておりましたが、建設課の担当の方々の協力により、道路用地を含めた用地買収が予定より順調に進み、駐車場部分につきましても工事施工の見通しがつきましたので、市道の新設改良工事に合わせて、発注、着工するため6月補正のお願いするものです。

この間、先の委員会でもご説明申し上げましたが、駐車場を含め病院の周辺整備計画を、患者さんには利用しやすい設備に、又、事業費の圧縮、節減の面からも再検討し、6月補正のお願いするものです。

以上、6月補正に至った経緯について、改めてご説明申し上げます。

よろしく、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

## 残土処理について

残土処理の土量は

道路新設改良分	8,000 m <sup>3</sup>
病院周辺整備分	12,000 m <sup>3</sup>
合計	20,000 m <sup>3</sup>

残土処理費

予算額には、仁尾興産までの運搬費のみ（4 km） 立米830円  
 $12,000 \text{ m}^3 \times 830 \text{ 円} = 1,000 \text{ 万円}$   
1000万円を残土処理費として計上

参考 運搬7 km 立米 1,000円+500円=1,500円  
 $12,000 \text{ m}^3 \times 1,500 \text{ 円} = 1,800 \text{ 万円}$

残土処理の方策

- ・ 現在、建設課で県工事、市の工事、又、一時置いておくストックヤードの候補地をさがしています。（さらに一般への呼びかけも）
  - ・ いずれにしましても、残土の処理方法によって、工事費も大きく変わってきますので、可能な限り、安い受け入れ先を探し続けていくつもりです。
  - ・ 前の低いところへ残土を入れることについては、建設課で検討してもらいましたが、
    - 土地所有者が買収に応じない、
    - 民家に接近して、盛土造成とドハの法面工法は、災害の危険大
    - この一帯が急傾斜の指定地
    - 八幡さんの土地に一部係り、木の伐採等の許可が出ない
  - ・ この工事の中で、
    - 歩道橋撤去部分への盛土 1～2000 m<sup>3</sup>
    - 駐車場部分への盛土 切り土
- などできるだけ残土を活用する

## 駐車場整備事業の財源(70,000千円)について

### 1. 起債事業とした場合

支出(借入から償還までの10年間合計)

70,000千円借入による償還額	元金	70,000 千円	10年間合計
	利息	9,220 千円	10年間合計(利率2.0%)
	計	79,220 千円	①

収入(借入から償還までの10年間合計)

交付税措置額 (一旦、一般会計へ措置される)	元金	15,750 千円	22.5%の交付税措置
	利息	2,075 千円	22.5%の交付税措置
	計	17,825 千円	②

実質的な負担額	①-②	61,395 千円	③
---------	-----	-----------	---

資金が病院事業会計内に残ることによる預金利息

70,000千円の預金利息(10年間合計)	3,500 千円	④(定期預金利率0.5%)
-----------------------	----------	---------------

実質的な負担額(預金利息を加味した場合)	③-④	57,895 千円
----------------------	-----	-----------

### 2. 内部留保資金で負担した場合

事業年度(H19)の負担額	70,000 千円
---------------	-----------

#### [説明]

内部留保資金で実施した場合、単年度(H19)で70,000千円の負担が必要であることに対し、

70,000千円の起債をした場合、10年間の元利償還額合計は79,220千円となるが、交付税措置があるため、実質的な負担額は61,395千円である。

更に、70,000千円が病院事業会計内に残ることによる預金利息の収入が望めるため、これを加味した実質的な負担額は57,895千円であるという考え方もできる。

起債償還計画(試算)

(永康病院)

単位:千円

内容		借入額	償還額	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
18年度までの 起債償還残	機器、施設起債残	675,040	元金	107,194	132,791	99,932	99,944	93,204	29,686	25,953	27,394	28,924	16,976	10,923	11,270	11,270	
			利息	31,231	27,109	22,504	18,358	14,041	10,293	8,890	7,449	5,919	4,531	3,891	3,544	3,544	
19年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金				4,880	4,940	5,040	5,140							
	施設整備 駐車場整備		70,000	元金			40	40	30	20	10						
20年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金			1,400	1,400	1,400	1,230	1,070	900	720	550	370	180		
21年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金				40	40	30	20	10						
22年度起債	機器整備 経常的機器更新 CT更新	50,000	元金						4,880	4,940	5,040	5,140					
23年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金						1,000	1,000	750	500	250				
24年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金							40	40	30	20	10			
25年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金								40	40	30	20	10		
26年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金									40	40	30	20	10	
27年度起債	機器整備 経常的機器更新 MRI更新	70,000	元金										40	40	30	20	
28年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金											1,400	1,400	1,060	
29年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金												40	40	
30年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金													40	
31年度起債	機器整備 経常的機器更新	20,000	元金														
(4条) 元金償還計(年度)				107,194	132,791	99,932	104,824	111,224	52,856	61,683	63,474	65,324	53,706	40,103	52,730	43,620	
(3条) 利息支払計(年度)				31,231	27,109	23,944	19,838	15,551	12,613	11,060	9,209	7,259	5,461	5,761	5,224	4,714	
年度償還額(元金、利息)合計				138,425	159,900	123,876	124,662	126,775	65,469	72,743	72,683	72,583	59,167	45,864	57,954	48,334	
年度未償還残高				675,040	632,249	552,317	467,493	406,269	373,413	331,730	288,256	242,932	259,226	239,123	206,393	182,773	

※試算の条件等

1. 駐車場整備に関する起債は、H19年度70,000千円とし、10年償還(元金据置2年)とした。
2. 毎年、経常的機器更新として20,000千円(5年償還、元金据置1年)の起債とした。
3. H22年度にCT、H27年度にMRIの更新のための起債を加えた。